

新潟大学歯学部同窓会 Newsletter

同窓会事業の様子をお届けします。



2025年8月31日 学術セミナー2 「矯正歯科治療のコンセプトと連携医療 —大学在職中の実践をもとに—」が開催されました。

2025年8月31日、学術セミナー2「矯正歯科治療のコンセプトと連携医療 —大学在職中の実践をもとに—」が、ハイブリッド形式(現地+オンライン)で開催されました。

講師を務めてくださった齋藤 功先生(新潟大学 名誉教授・歯学科14期生)、そしてご参加いただいた多数の皆さまに、心より感謝申し上げます。



2025年11月9日 学術セミナー3 「当院における義歯治療： 守る基本と省く思い込み」が開催されました。

2025年11月9日、学術セミナー3「当院における義歯治療：守る基本と省く思い込み」が、ハイブリッド形式(現地+オンライン)で開催されました。

講師を務めてくださった野村 修一先生(新潟大学 名誉教授・歯学科3期生)、そしてご参加いただいた多数の皆さまに、心より感謝申し上げます。



2025年11月8日・9日 全国歯科大学同窓・校友会懇話会および懇親会、 国公立大学歯学部同窓会連絡協議会に 参加してきました。

2025年11月8日(土)に第72回全国歯科大学同窓・校友会懇話会および懇親会(全歯懇)が、翌日9日(日)に令和7年度国公立大学歯学部同窓会連絡協議会(国歯協)が開催されました。

本年度は全歯懇は明海大学が当番校で、国歯協は北海道大学が当番校でした。

当同窓会からは有松 美紀子会長(歯学科14期)、内藤 義隆専務理事(歯学科23期)、佐藤 圭祐広 報名簿部理事(歯学科43期)が参加、各大学と情報交換をしてきました。



全歯懇：内藤専務理事(左)、有松会長(中)、佐藤理事(右)



全歯懇：懇親会の様子



国歯協の様子

2025年12月12日

新潟大学歯学部同窓会会員 各位

新潟大学歯学部同窓会
選挙管理委員会委員長 朝日藤 寿一

同窓会会長及び監事の選挙結果について

2025年12月1日付で告示した標記選挙の立候補の届出は、会長及び監事ともに定数どおりの候補者であったため、選挙管理規則第17条(3)により、下記の当選人が決定いたしました。以下、当選人の立候補時の趣意についてご報告申し上げます。

記

会長当選者

内藤 義隆 歯学科23期生 現同窓会専務理事(新潟市開業 現住所：新潟東区)

このたび、長きにわたり同窓会を牽引された有松会長がご勇退されるにあたり、後任の会長に立候補いたしました。1993年卒業・歯学科23期生の内藤義隆と申します。現在、新潟市東区で歯科医院を開業し、本年で20年目となります。

私はこれまで、19年にわたり福利厚生理事を務め、そのうち12年は専務理事も兼任いたしました。多和田会長のもとで2年、有松会長のもとで10年と両職を兼務し、同窓会の歩みと課題を深く見つめてまいりました。

現在、同窓会は正会員数3,200名超である一方、会費納入率の低下、役員就任者の減少、事務作業の煩雑化など、解決すべき課題が山積しています。先輩方が築かれた歴史を継承しつつ、これらの課題に丁寧に向き合い、後輩のために持続可能な運営体制を整えることが不可欠だと考えております。

また、当同窓会は、会員相互の連携と親睦を深め、会員の資質向上を図るとともに、母校の発展と社会への貢献に寄与することを目的としています。この目的を確実に遂行していくことも、重要な責務だと認識しております。

私自身、歯科医師としての仕事と妻と二人の子育てをし、今日まで生活してこられたのは、母校・新潟大学歯学部で学ばせていただいたおかげであり、同窓会員の皆様や多くの方々の支えがあったことです。

その恩返しと感謝の思いを胸に、浅学非才、人間的に未熟ではございますが、同窓会員の皆様、ほぼボランティアの形で会務を支えてくださっている役員の方々、そして事務のお二人のご意見に真摯に耳を傾け、お力をお借りしながら、この難局に力を合わせて乗り越えてまいりたいと考えております。

会長職に誠心誠意、全力で取り組む所存ですのでどうぞよろしく願いいたします。

監事当選者

新垣 晋 歯学科6期生 現全学同窓会運営委員(現住所：新潟市中央区)

新潟大学を退職して10年になります。在職中は選挙管理委員長を数年務めた以外、歯学部同窓会および会員に対する関わりは少なく、同窓会が主催する会員向けの学術講演会やセミナーの講師として参加する程度でした。退職後の2016年から全学同窓会運営委員を務め歯学部同窓会の周知、発展のために多少なりとも貢献をすることができました。今回は監事の退任に伴いその後任として立候補することになりました。体力、気力ともに不安がないわけではありませんが、同窓会および会員の皆様のお役に立つよう尽くしてまいります。

石崎 裕子 歯学科22期生 現同窓会監事(新潟市開業 現住所：新潟市中央区)

この度、監事に立候補することになりました。新潟大学歯学部同窓会は設立40年を超え、会員数も増加し幅広い年齢層からなる大きな組織になっています。2つの学科の卒業生の異なるニーズ、昨今の歯科医師国家試験の合格率の低下で同期生に卒後のスタートが異なる者が多く混在する、高齢会員の増加など、本同窓会は多様化しています。学科ごとの会費の見直し、会費納入方法の多様化、高齢会員の終身会員制度など、多様な会員サービスが実施されておりますが、一方で運営・実務対応が複雑になっています。さらに、会費納入率が低いという会の活動にかかわる課題もあります。多様化への対応と複雑化する実務のバランスをとりつつ、将来へ持続可能な会となるよう、微力ながら同窓会の発展にお役に立てればと思います。

以上